

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／フィールドスタディーズ (Field Studies)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	メディアの基本原理、技術を知り、体験して学ぶ		
担当者名 (Instructor)	田北 康成(TAKITA YASUNARI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOX2540	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	人数制限科目(20名) 2016年度以降入学者適用		

#### 授業の目標(Course Objectives)

ふだん使っているメディア技術の基本原理を自ら体験し、発達の歴史を学ぶことにより、より高度なコミュニケーション技術への新しい発想を促すことを目標とします。

The goal is to encourage new ideas for more advanced communication technologies by experimenting with the basic principles of media technology we typically use and learning about the history of development.

#### 授業の内容(Course Contents)

現在、インターネットや SNS、マスメディアで使われているコミュニケーションの技術は、アナログからデジタルへと、この四半世紀で大きく変化しました。さまざまな技術の中で興味のあるものを選び、その基本原理を調べるとともに、実験器具や実習施設を通して体験し、そこから学んだことを情報発信する場を作ります。

The communication technologies currently used on the Internet, the SNS and mass media have changed considerably over the past 25 years, moving from analogue to digital. Students will select the ones they are interested in various technologies, investigate the basic principles, experience them through laboratory equipment and training facilities, and create a place to disseminate information about what they have learned from that.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. 実習の進め方の説明
2. 調査方法について(その1)
3. 調査方法について(その2)
4. 問題意識の形成(その1)
5. 問題意識の形成(その2)
6. フィールド調査(プレ・第1回)
7. フィールド調査報告
8. フィールド調査(プレ・第2回)
9. フィールド調査報告
10. フィールド調査(プレ・第3回)
11. フィールド調査報告
12. フィールド調査(本調査第1回)
13. フィールド調査(本調査第2回)
14. フィールド調査報告

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

授業時間外の学習に関する指示は、必要に応じて別途指示します。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%) / 中間報告(40%) / 授業への参加状況(20%)

#### テキスト(Textbooks)

なし

#### 参考文献(Readings)

1. 印刷博物館、2020、『日本印刷文化史』、講談社 (ISBN:978-4065204528)
  2. 青木則夫、2011、『図解 テレビの仕組み』、講談社 (ISBN:978-4062577342)
  3. 岡部匡伸、2020、『ラジオの技術・産業の百年史—大衆メディアの誕生と変遷』、勉誠出版 (ISBN:978-4585222958)
  4. 岩波書店編集部、2003、『カラー版 本ができるまで』、岩波書店 (ISBN:978-4005004409)
- 履修生の興味に沿って、授業内で参考文献を指示します。

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

【注意】校外でのフィールドスタディを実施する都合上、時間延長があり得ます(新型コロナウイルスのまん延状況によっては、大学の方針に従って、代替のプログラムを実施することについて了解をしておいてください)。

調査にかかる時間については、履修生と相談の上で調整しますが、基本的には履修日の3時限は必ず空けておいてください。また、履修生の希望を聴いての調査もあり得ます。なお、調査に関連するものの、自らに還元される部分については、社会通念上の一部費用負担を了解してください。

新聞博物館(横浜市)、放送ライブラリー(横浜市)、NHK放送博物館(港区)、印刷博物館(文京区)、写真美術館(目黒区)等の施設を見学予定ですが、当該施設の開館、予約状況により実施できない場合もあります。

#### 注意事項(Notice)